

農薬の基礎知識 I

農薬の種類

病気には殺菌剤を、害虫には殺虫剤を使用します。

殺菌剤 大きく分けて糸状菌性（カビ）の病気と細菌性（バクテリア）の病気に効く薬剤があります。

糸状菌性の病気 灰色かび病、さび病、うどんこ病など

（薬剤名） トップジンM、ベンレート、ダコニールなど

細菌性の病気 斑点細菌病、もみ枯細菌病、軟腐病など

（薬剤名） ストレプトマイシン、スターナなど

糸状菌および細菌の病気の予防剤 銅剤や石灰硫黄合剤など

殺虫剤

害虫の体に直接散布して退治する薬剤、植物の表面に付着・吸着した成分を食べさせて退治する薬剤、成分が浸透した植物汁液を吸わせて退治させる薬剤など、作用の仕方はいろいろあります

（害虫） （適応薬剤）

アブラムシ・・・・・・・・・・ロディ、オレート、オルトラン、スプラサイドなど

アザミウマ・・・・・・・・・・アグロスリン、アドマイヤー、カスケードなど

オンシツコナジラミ・・・・・・・・トレボン、アブロード、テルスターなど

カイガラムシ・・・・・・・・・・アブロード、カルホス、スプラサイド、マシン油など

ヨトウガ・・・・・・・・・・ロディ、デミリン、デナボンなど

殺ダニ剤

ダニは昆虫でないため、多くの殺虫剤は効果がありません。ダニ専用の農薬を選びます。世代交替が早く、猛烈な繁殖力を持っているうえ、薬剤抵抗性がつきやすいので、早期発見・防除が必要です。

ケルセン、オサダン、ダニトロン、ニッソランなどで防除します。

そのほか、ナメクジ、カタツムリに対しても専用の農薬（殺ナメクジベレット、マイキラーなど）を選びます。

農薬の形態

乳剤・液剤 液状の薬剤で、規定量の水で薄めて使用します。薬害が出やすいので注意します。

水和剤・水溶剤 粉状の薬剤で、規定量の水で薄めて使用します。散布後植物に汚れを残しやすいです。

粒剤 粒状の薬剤で、噴霧器は必要なく、そのまま株元にばらまいたり、土にすき込んだりします。植物汁液を吸汁する害虫に効きます。他剤と比べて遅効的です。

スプレー剤 薄めずそのまま使用します。応急用として便利です。